

各関係機関・団体長 様

愛媛県病虫害防除所長

病虫害防除技術情報（第 7 号）の送付について

このことについて、次のとおりお知らせしますので、御参照の上、防除指導方よろしく願いいたします。

記

- 1 情報の内容 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ）の越冬状況について
- 2 対象作物 果樹全般（うめ、もも、びわ、なし、かんきつ等）
- 3 越冬量 少
- 4 発生の現状
 - （1）県下 40 地点の落葉広葉樹林の落葉（1 m²×2 か所／地点）を採取し、チャバネアオカメムシの越冬量を調査した結果、越冬が確認された地点は 0 か所であり、昨年及び平年に比べて越冬確認地点率、越冬虫数ともに少ない（表）。

表 果樹カメムシ（チャバネアオカメムシ）の越冬量調査

採集月	地域	調査地点数	越冬確認地点率（％）	越冬虫数/1か所
R7. 2月	東予	10	0	0
	中予	10	0	0
	南予	20	0	0
	全県	40	0	0
R6. 2月	全県	40	67. 5	3. 88
平年	全県	40	35. 5	1. 09

- 1）越冬調査は落葉 2 m²/地点当たりの頭数
- 2）平年は過去10年間の平均
- 3）2 月上中旬に採取した落葉を25℃に加温した室内で2 週間管理し、3 月上旬に生存虫数を計数した。

- 5 今後の発生予想等
 - （1）チャバネアオカメムシの越冬確認地点率、1 地点当たりの越冬虫数ともに少なかったことから、新成虫の発生する 8 月頃までの発生量は平年に比べ、少ないと予想される。
 - （2）発生量は昨年に比べ少ないと予想されるが、果樹カメムシ類は局所的に飛来し、被害をもたらすことがあるので注意する。
 - （3）越冬後の果樹カメムシ類の発生量は、予察灯やフェロモントラップで調査しており、病虫害防除所のホームページに随時掲載している（4 月以降）。